

平成26年度 加古川市公開事業評価

アンケート結果報告書



Kakogawa City

加古川市

いつまでも住みたい ウェルネス都市 加古川

■目次■

第1章 市民評価員アンケート

1	実施概要	P	1
2	アンケート内容	P	1
3	アンケート結果		
	(問1) お住まいの地域について	P	2
	(問2) 性別について	P	2
	(問3) 年齢について	P	3
	(問4) 公開事業評価には何日間ご出席いただきましたか	P	3
	(問5) 事前研修会にご参加いただきましたか	P	4
	(問5-1) 事前研修会に参加された方にお尋ねします 事前研修会はいかがでしたか	P	4
	(問6) 市民評価員をやってみた感想はいかがでしたか	P	5
	(問7) 資料の内容はいかがでしたか	P	5
	(問8) 資料の配付時期はいかがでしたか	P	6
	(問9) 説明者(市職員)の説明はいかがでしたか	P	6
	(問10) 外部審議委員の質問はいかがでしたか	P	7
	(問11) 時間配分はいかがでしたか	P	7
	(問12) 会場はいかがでしたか	P	8
	(問13) 市民評価員は議論に参加できませんでしたが、いかがでしたか	P	8
	(問14) 今後も公開事業評価を実施した方がよいと思われませんか	P	9
	(問15) その他、公開事業評価についてのご意見・ご感想	P	9

第2章 傍聴者アンケート

1	実施概要	P	13
2	アンケート内容	P	13
3	アンケート結果		
	(問1) お住まいの地域について	P	14
	(問2) 性別について	P	14
	(問3) 年齢について	P	15
	(問4) 公開事業評価を何で知りましたか	P	15
	(問5) 資料の内容はいかがでしたか	P	16
	(問6) 説明者(市職員)の説明はいかがでしたか	P	16
	(問7) 外部審議委員の質問はいかがでしたか	P	17
	(問8) 時間配分はいかがでしたか	P	17
	(問9) 今後も公開事業評価を実施した方がよいと思われませんか	P	18
	(問10) その他、公開事業評価についてのご意見・ご感想	P	18

第1章 市民評価員アンケート

1 実施概要

次のとおり市民評価員を対象にアンケートを実施しました。

(1) 実施時期

【公開事業評価1日目】平成26年11月29日(土)

【公開事業評価2日目】平成26年11月30日(日)

(2) 対象

公開事業評価に出席した市民評価員27人

(3) 実施方法

公開事業評価当日に市民評価員に配付し、当日回収

(4) 回答者数

27人

(5) 回答率

100%

2 アンケート内容

(問1) お住まいの地域について

(問2) 性別について

(問3) 年齢について

(問4) 公開事業評価には何日間ご出席いただきましたか。

(問5) 事前研修会(10月28日)にご参加いただきましたか。

(問5-1) 事前研修会に参加された方にお尋ねします。

事前研修会はいかがでしたか。

(問6) 市民評価員をやってみた感想はいかがでしたか。

(問7) 資料の内容はいかがでしたか。

(問8) 資料の配付時期はいかがでしたか。(約10日前に送付)

(問9) 説明者(市職員)の説明はいかがでしたか。

(問10) 外部審議委員の質問はいかがでしたか。

(問11) 時間配分はいかがでしたか。(1事業45分)

(問12) 会場はいかがでしたか。

(問13) 市民評価員は議論に参加できませんでしたが、いかがでしたか。

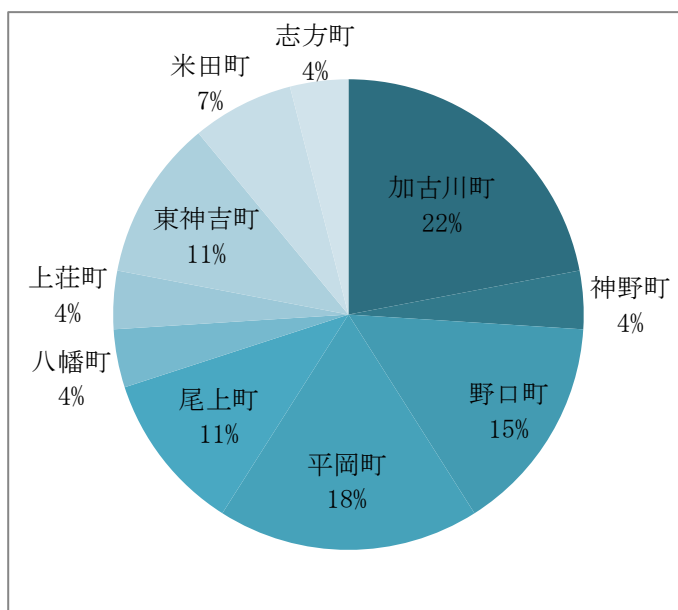
(問14) 今後も公開事業評価を実施した方がよいと思われませんか。

(問15) その他、公開事業評価について、ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

3 アンケート結果

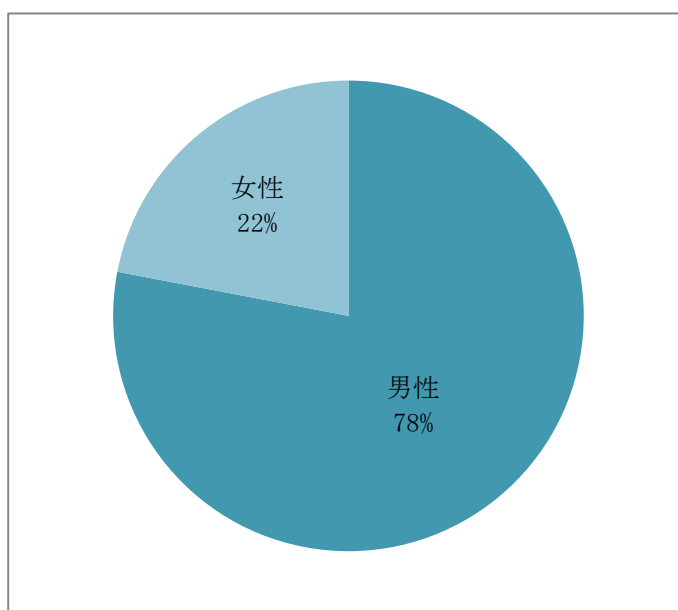
(問1) お住まいの地域について

1. 加古川町	6人
2. 神野町	1人
3. 新神野	0人
4. 西条山手	0人
5. 山手	0人
6. 野口町	4人
7. 平岡町	5人
8. 尾上町	3人
9. 別府町	0人
10. 八幡町	1人
11. 平荘町	0人
12. 上荘町	1人
13. 東神吉町	3人
14. 西神吉町	0人
15. 米田町	2人
16. 志方町	1人
合計	27人



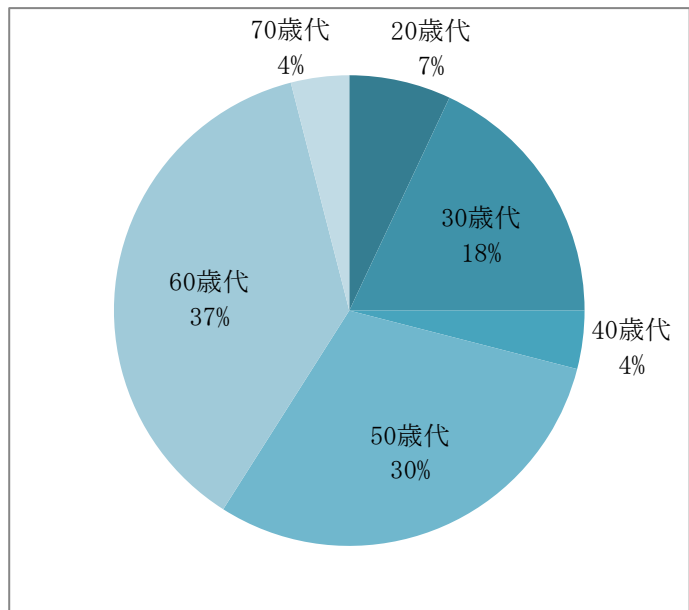
(問2) 性別について

1. 男性	21人
2. 女性	6人
合計	27人



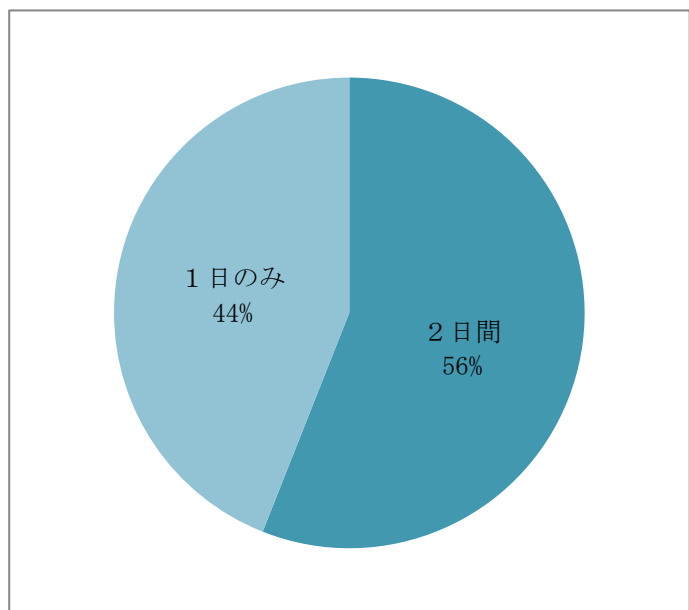
(問3) 年齢について

1. 20歳代	2人
2. 30歳代	5人
3. 40歳代	1人
4. 50歳代	8人
5. 60歳代	10人
6. 70歳代	1人
合計	27人



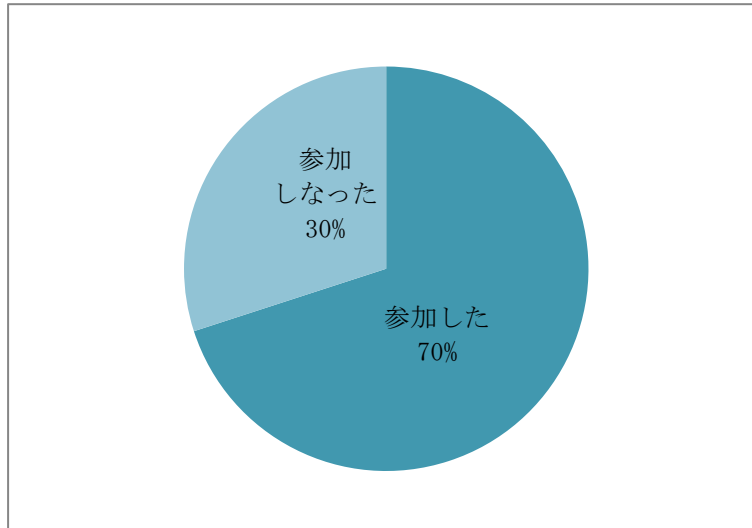
(問4) 公開事業評価には何日間ご出席いただきましたか。

1. 2日間	15人
2. 1日のみ	12人
合計	27人



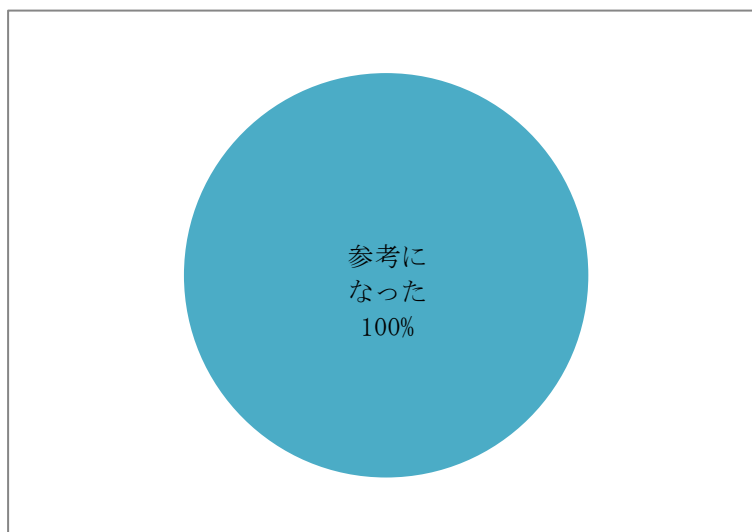
(問5) 事前研修会(10月28日)にご参加いただきましたか。

1. 参加した	19人
2. 参加しなかった	8人
合計	27人



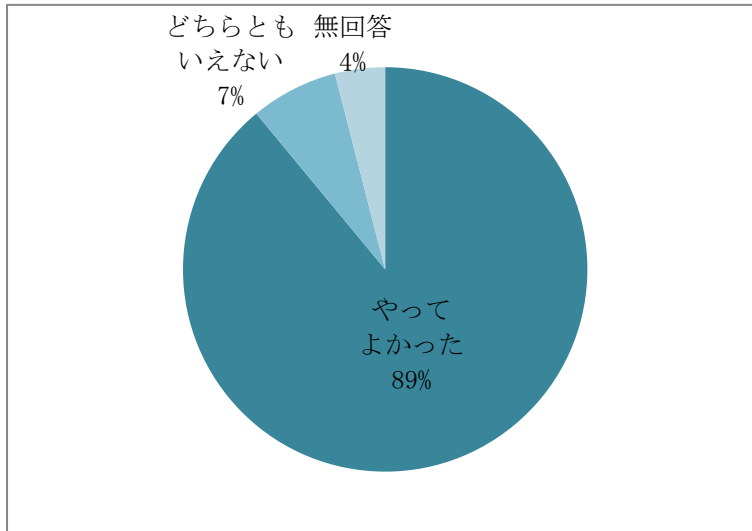
(問5-1) 事前研修会に参加された方にお尋ねします。
事前研修会はいかがでしたか。

1. 参考になった	19人
2. 参考にならなかった	0人
3. どちらともいえない	0人
合計	19人



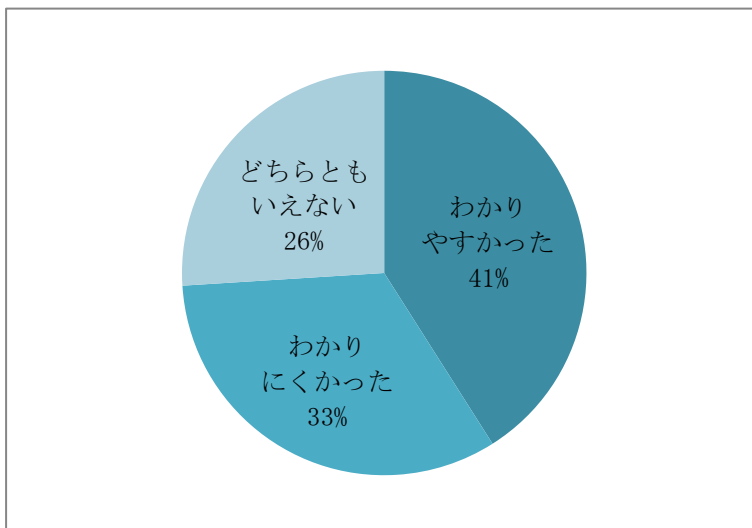
(問6) 市民評価員をやってみた感想はいかがでしたか。

1. やってよかった	24人
2. やらない方がよかった	0人
3. どちらともいえない	2人
4. 無回答	1人
合計	27人



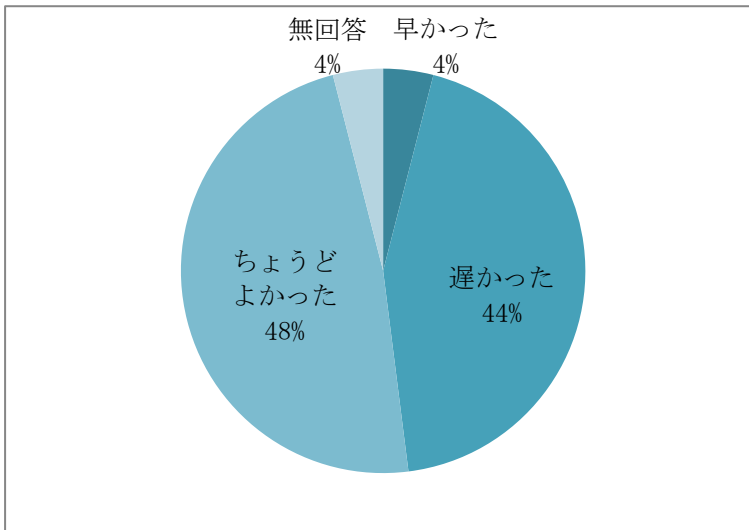
(問7) 資料の内容はいかがでしたか。

1. わかりやすかった	11人
2. わかりにくかった	9人
3. どちらともいえない	7人
合計	27人



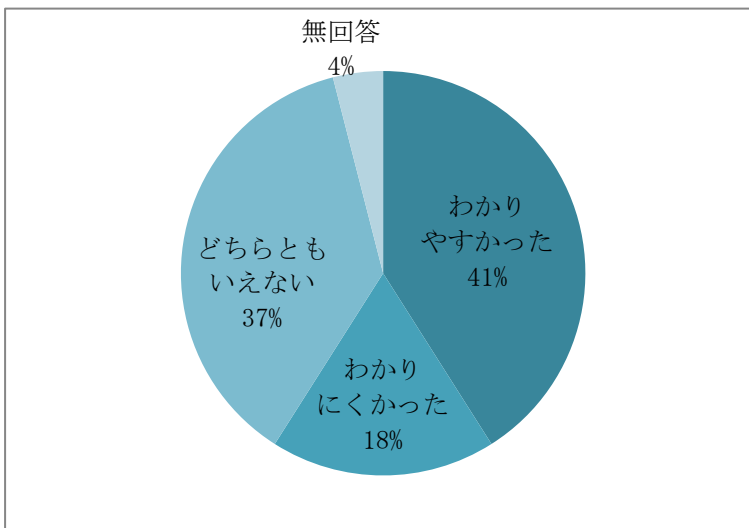
(問8) 資料の配付時期はいかがでしたか。(約10日前に送付)

1. 早かった	1人
2. 遅かった	12人
3. ちょうどよかった	13人
4. 無回答	1人
合計	27人



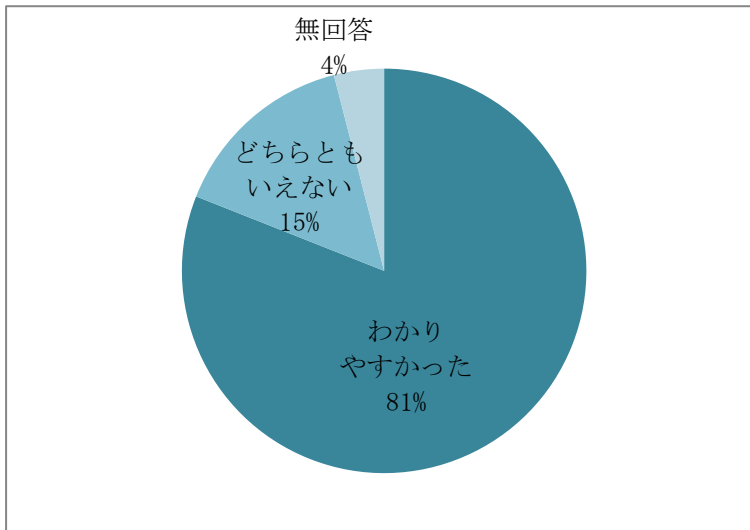
(問9) 説明者(市職員)の説明はいかがでしたか。

1. わかりやすかった	11人
2. わかりにくかった	5人
3. どちらともいえない	10人
4. 無回答	1人
合計	27人



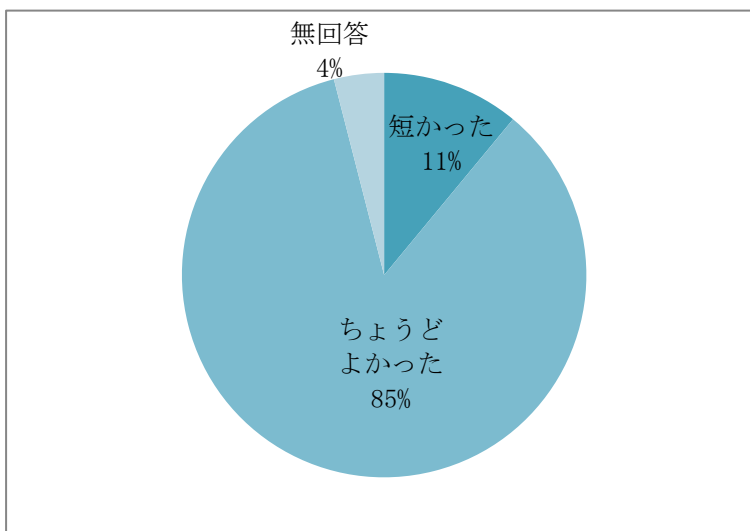
(問10) 外部審議委員の質問はいかがでしたか。

1. わかりやすかった	22人
2. わかりにくかった	0人
3. どちらともいえない	4人
4. 無回答	1人
合計	27人



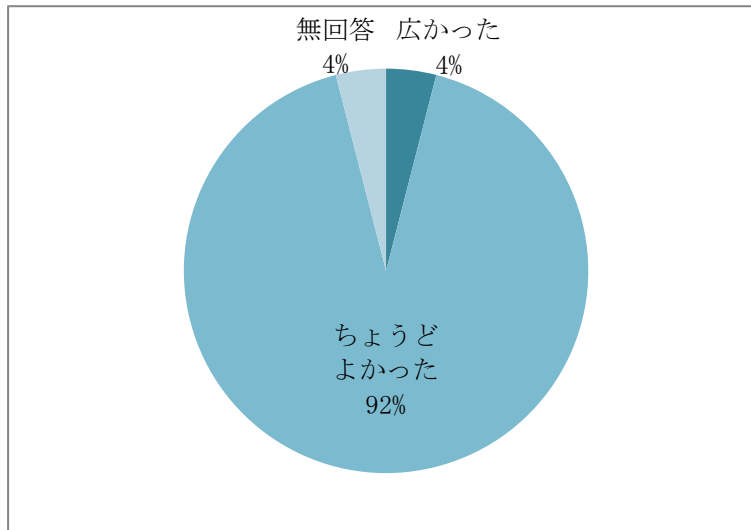
(問11) 時間配分はいかがでしたか。(1事業45分)

1. 長かった	0人
2. 短かった	3人
3. ちょうどよかった	23人
4. 無回答	1人
合計	27人



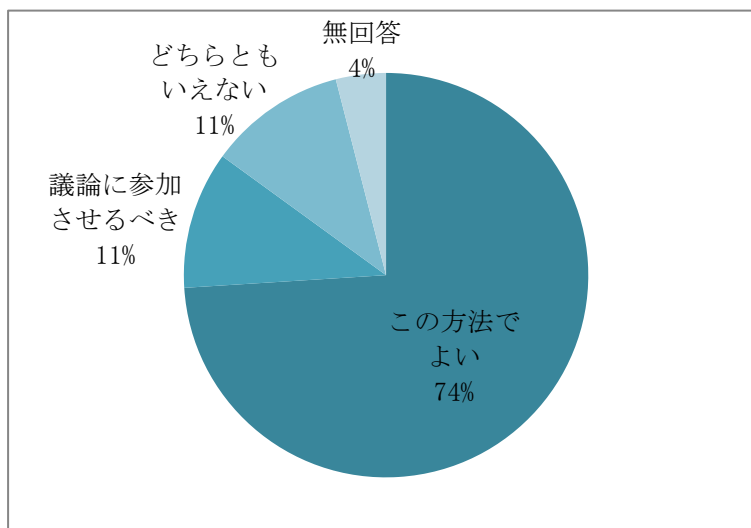
(問 1 2) 会場はいかがでしたか。

1. 広かった	1 人
2. 狭かった	0 人
3. ちょうどよかった	2 5 人
4. 無回答	1 人
合計	2 7 人



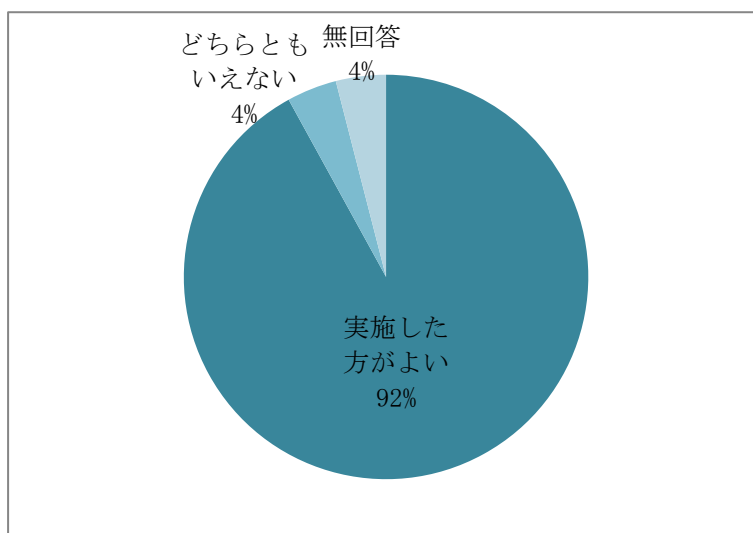
(問 1 3) 市民評価員は議論に参加できませんでしたが、いかがでしたか。

1. この方法でよい	2 0 人
2. 議論に参加させるべき	3 人
3. どちらともいえない	3 人
4. 無回答	1 人
合計	2 7 人



(問14) 今後も公開事業評価を実施した方がよいと思われませんか。

1. 実施した方がよい	25人
2. 実施しない方がよい	0人
3. どちらともいえない	1人
4. 無回答	1人
合計	27人



(問15) その他、公開事業評価について、ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

- 配付時期が遅すぎるので質問の受付日までに出せなかった。
- 資料の配付が遅かったため、せっかく質問表が入っていたのに活用できなかったのが残念（送付期限に間に合わなかった）。
事業の利用者の話を直接聞く機会もあれば、より内容を検討できたのではないかと。
- 行政の取組が身近に感じられたのは良かった。
若い人が少なく、若干肩身の狭い思いがしたため、もっと様々な年齢層の人が来てもらえるよう工夫すべき。
- 事業内容や予算（決算）の多さに驚きました。
外部の方の意見がとても参考になり、詳しく理解できました。
殆ど行政に関心がありませんでしたが、興味がわいてきました。
税金が良い形で使われるような評価に参加でき、本当に光栄に思います。
- 短い時間で各事業の問題点を拾い上げてゆくのは難しい面がありますが、外部審議委員の的を絞った質問には大変感心させられました。

事業によっては、本来の目的に沿わないもの、出費の費用の割に成果が上がっていないもの、今までこうやってきたからの改善の意識が見られないもの、「これはおかしいよ」と思われることも多く、考えさせられました。また参考になる事も多く、良い経験ともなりました。(見えなかったものも少し見えてきた気がして)(もちろんプラスの工夫もありました)

- 市民評価員を議論に参加させる際は、議論におけるルールなどを教えるため、2・3回は事前研修会は実施するべき。

- 市説明員は、質問の論点をすりかえず、まっすぐに答えてほしい。論点のすりかえによるはぐらかしのよう感じられる。

都市部の感覚と数で、田舎を切捨てないでほしい。

- 市職員と審議委員のやりとりを聞いていて、参考になることが多かった。これからもいろんな方法で市民が参加できる方法を考えていただきたい。

- 14事業について公開事業評価をしましたが、評価結果をふまえ、その後、どういう施策で取り組んでいくのか。市として市民へ発表していく考えはありますか。

毎年、このような公開事業評価をして、健全化をめざしていただけたらと感じます。

全事業についても、市として常に整備していただけたらと思います。

市民評価員として参加させていただき、大変参考になりました。

1人1人が市の取組に関心をもって、よりよい暮らしやすい加古川市をつくっていったらと強く思い、今後、より一層、注意深く関心をもっていきたいと思います。

- 集団回収奨励事業の補助金、もっと単価見直しをする様をお願いしたい。全ての評価結果、今回参画した評価員に知らすべきです。楽しみにしておきます。

- 1年目で仕方がないが、今回の意見を今後の市事業に反映させるなら、予算編成時期等も考えながら、開催時期をもう少し早めに。

事業廃止ともなれば、関係団体からの圧力も予想され、苦しい立場とは思いますが、市民の意見ということで実施の方向で進められたい。

パフォーマンスだけで終わらせないことを希望する。

- 市とビジネスしてみたいです。役に立てる部分有りと思います。一緒にやれる面多々有り。

- 評価事業数をもっと増やしても良いと思います。

職員の皆さん、新たな取組でとまどいがあったと思いますが、継続してください。

- 資料の数字が小さいので配慮したらよい。

事前質問票と事前に不明な所も尋ねることができるようにしたらよい。

市政について考える機会ができてよかった。

- 同じ課題でも他の都道府県ではどう対応しているのか。外国を参考にするのもいい。ええとこ取りは日本人の専売特許。大いに見習って取り組みましょう。
- 明確な目標がないために PDCA が回らない、時が止まった感がする又丸投げ体質から脱却していただきたい。
外部審議委員及び市民評価員も同じ目線と感じた。
思い切った改革を期待します。
市の目標を一般事務職までベクトルを合わせて頑張ってください。
- 市は補助したら対象組織に任せっぱなしなのはどうかと思った。何かあった場合、まとめ役は市になるはずなので、情報管理は必要では。
今まで市の事業に関してほとんど知らなかったの、勉強できて良かった。今回市民評価員にならないと、公開事業評価があることを知らなかったと思うので、もう少し市民にお知らせした方がいいと思った。
- 市がどんな事業を行っているか、いくら費用がかかっているかなど、一部だが知ることができるいい機会であった。
評価中、外部審議委員が専門的な言葉を使うこともあるので、できるだけ、かみくだいて話をしてほしい。評価する側が混乱する。
- 加古川市に居住して 45 年、このたびご案内をいただき、このような機会はまだとないと思い出席させていただきました。
加古川行政事業の内容と税金の使い道、大変勉強になりました。
外部審議委員の質問で問題点などわかりやすかったです。評価の参考になりました。
ステキな加古川市の向上を願い、今後も市民の住みよい街にしていきたいと思います。
- 市民が評価員として参加することで、加古川市の事業に対して興味や関心を持てるようになりました。続けてほしいと思います。
私はとてもよかったですと思います。参加して知らないことがわかり、身近に感じました。よりよい加古川市、住みやすい加古川市になってほしいです。本当に知ることによって自分のいい体験になりました。ありがとうございました。
- 公開事業評価をアリバイとしないほしい。
市の関係団体へ委託・補助している事業に対し、市の事業である認識を持った対応となっていない。
行政作成の資料はよくできていた。説明も判りやすかった。
公益法人の正味財産増減計算書等の資料は知識がないと理解できない。資料として出すなら事前説明が必要である。
外部審議委員は若い人の方がよい。
加古川市中心部の人より遠方の市民評価員が多かったのではないか。市の政策を求めているため。

- 市民行政にとって、それぞれ物の見方、考え方が養われるので、今後も続けてほしいと思います。(コスト以上にメリットがある。)
外部審議委員の人選をもっと考えてもらった方がよいのではないか。

第2章 傍聴者アンケート

1 実施概要

傍聴者を対象にアンケートを実施した。

(1) 実施時期

【公開事業評価1日目】平成26年11月29日(土)

【公開事業評価2日目】平成26年11月30日(日)

(2) 対象

公開事業評価当日に来場した傍聴者(市職員含む)142人

(3) 実施方法

公開事業評価当日に受付にて配付し、回収箱にて回収

(4) 回答者数

64人

(内訳)【1日目】回答者数31人

【2日目】回答者数33人

(5) 回答率

45%

2 アンケート内容

(問1) お住まいの地域について

(問2) 性別について

(問3) 年齢について

(問4) 公開事業評価を何で知りましたか。

(問5) 資料の内容はいかがでしたか。

(問6) 説明者(市職員)の説明はいかがでしたか。

(問7) 外部審議委員の質問はいかがでしたか。

(問8) 時間配分はいかがでしたか。(1事業45分)

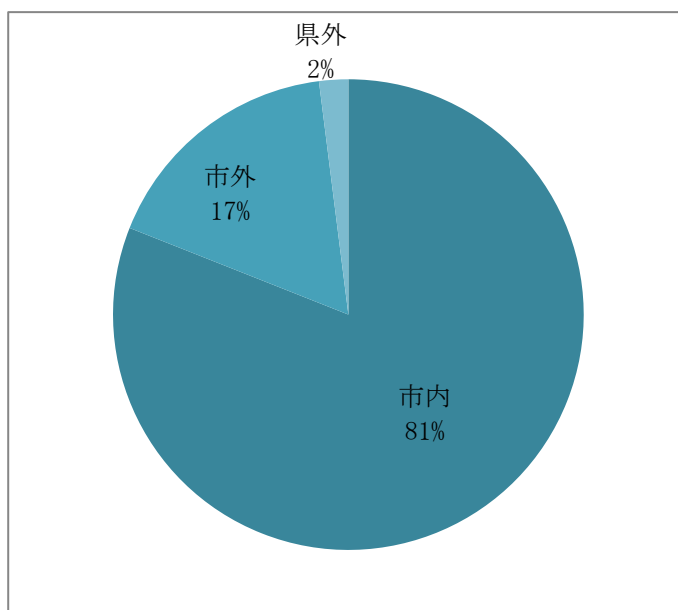
(問9) 今後も公開事業評価を実施した方がよいと思われますか。

(問10) その他、公開事業評価について、ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

3 アンケート結果

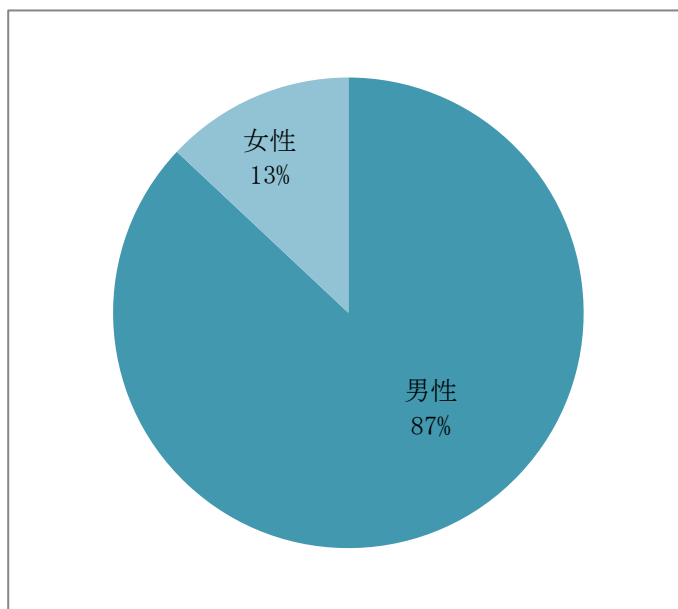
(問1) お住まいの地域について

1. 市内	52人
2. 市外	11人
3. 県外	1人
合計	64人



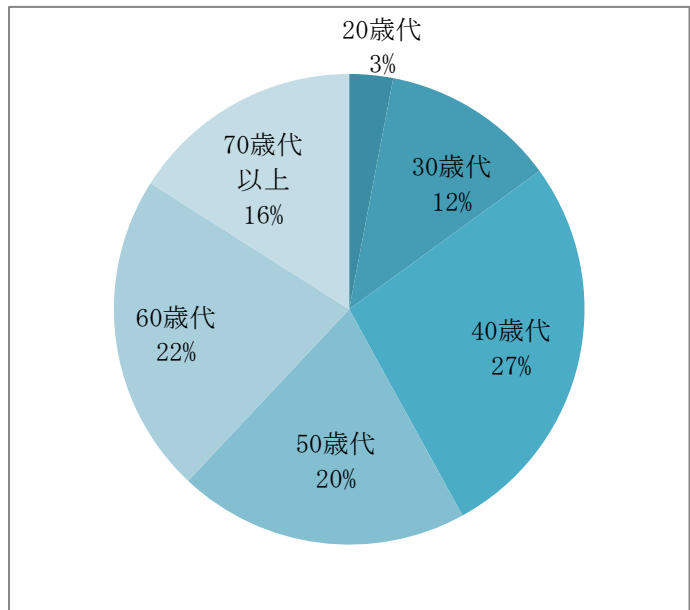
(問2) 性別について

1. 男性	56人
2. 女性	8人
合計	64人



(問3) 年齢について

1. 10歳代	0人
2. 20歳代	2人
3. 30歳代	8人
4. 40歳代	17人
5. 50歳代	13人
6. 60歳代	14人
7. 70歳代以上	10人
合計	64人



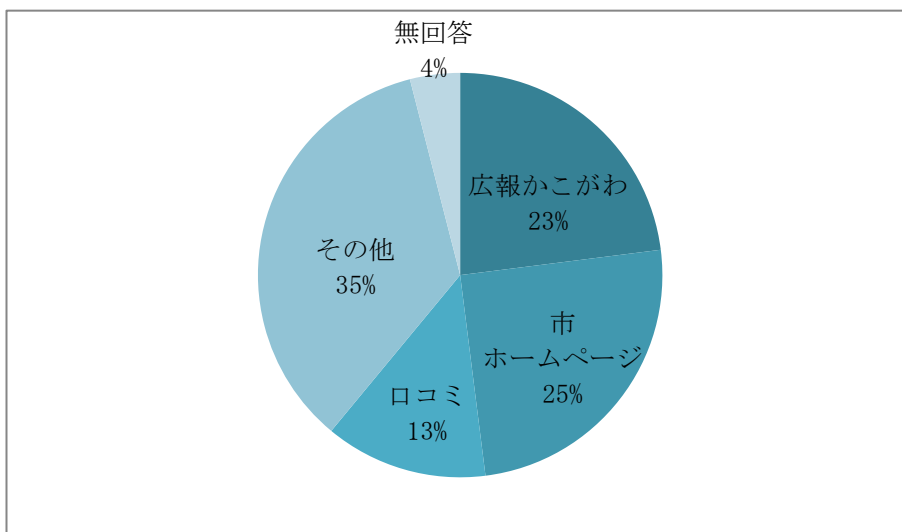
(問4) 公開事業評価を何で知りましたか。

1. 広報かこがわ	16人
2. 市ホームページ	18人
3. 口コミ	9人
4. その他	25人
5. 無回答	3人
合計	71人

※「4. その他」としては

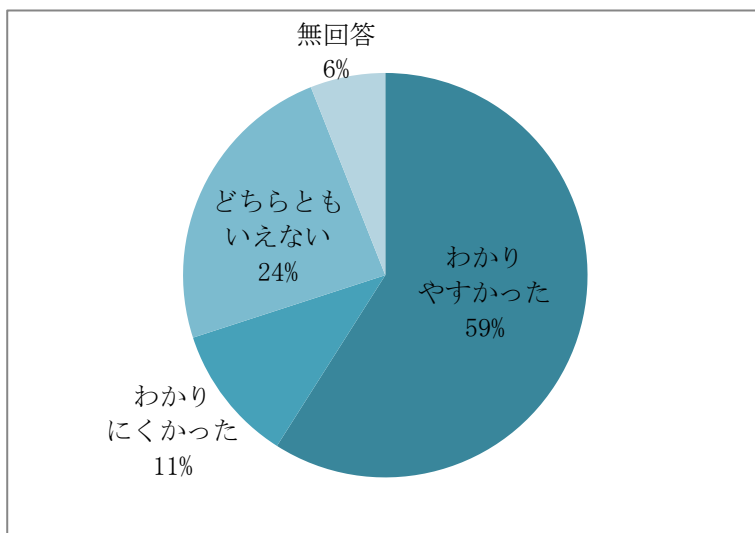
- 新聞 10人
- 常任委員会での報告から 2人 など

※複数回答あり



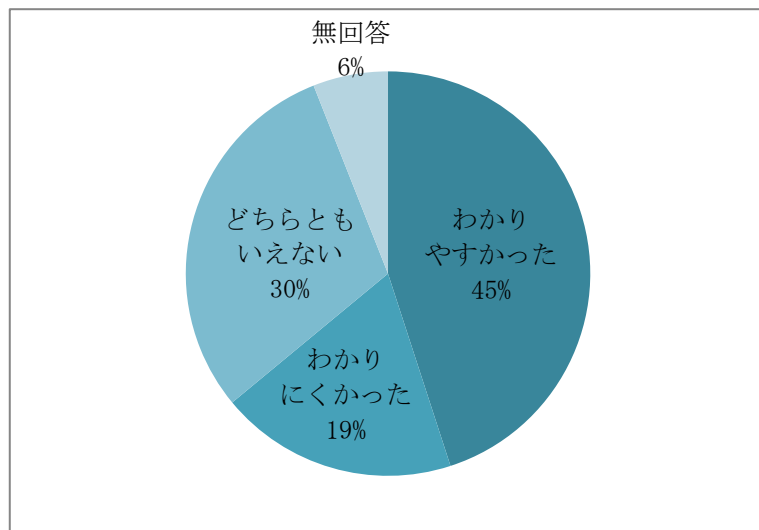
(問5) 資料の内容はいかがでしたか。

1. わかりやすかった	38人
2. わかりにくかった	7人
3. どちらともいえない	15人
4. 無回答	4人
合計	64人



(問6) 説明者(市職員)の説明はいかがでしたか。

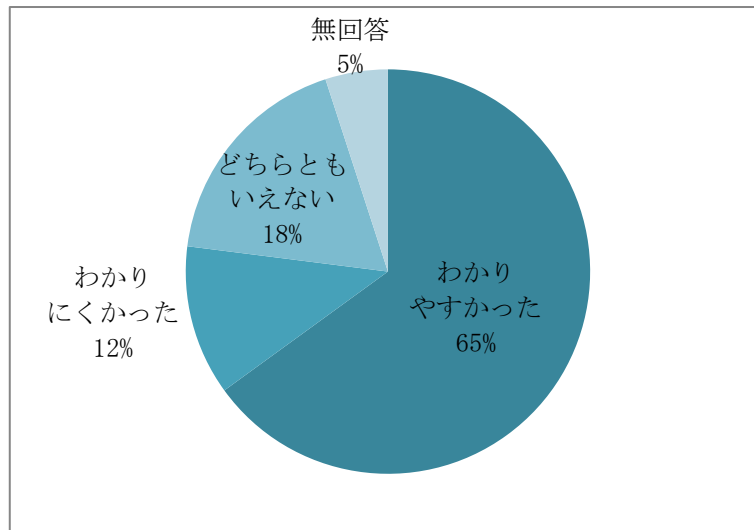
1. わかりやすかった	29人
2. わかりにくかった	12人
3. どちらともいえない	19人
4. 無回答	4人
合計	64人



(問7) 外部審議委員の質問はいかがでしたか。

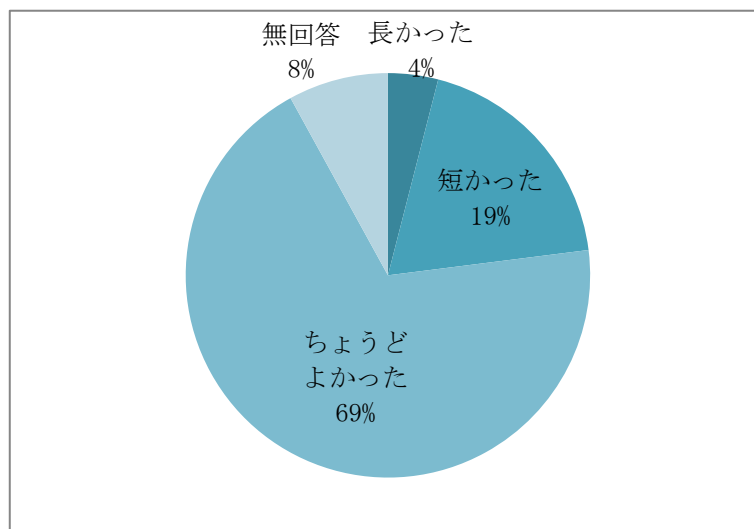
1. わかりやすかった	42人
2. わかりにくかった	8人
3. どちらともいえない	12人
4. 無回答	3人
合計	65人

※複数回答あり



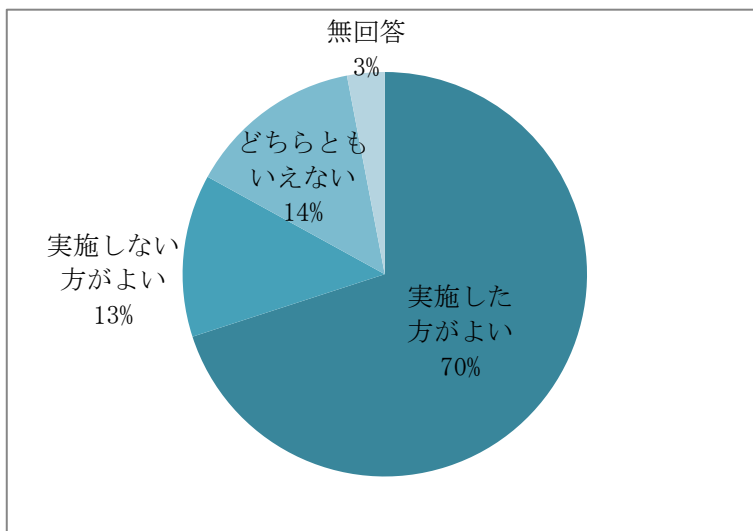
(問8) 時間配分はいかがでしたか。(1事業45分)

1. 長かった	3人
2. 短かった	12人
3. ちょうどよかった	44人
4. 無回答	5人
合計	64人



(問9) 今後も公開事業評価を実施した方がよいと思われませんか。

1. 実施した方がよい	45人
2. 実施しない方がよい	8人
3. どちらともいえない	9人
4. 無回答	2人
合計	64人



(問10) その他、公開事業評価について、ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

- 切り込み方がすばらしい。
いろいろな視点からの意見は必要だと改めてわかった。
行政側の考えといったものが他者にまかせている感じがした。
- 外部審議委員の質問に棘がある。
- コーディネーターの話が早口でわかりにくい。
- 事業評価する事業選定もオープンにして進めるべき。
- 改革を行う上で、一つの機会となる。追い風に使える。
市議会議員は思っても得票を意識するため、この角度からの切り口も必要。
- 100%実施に賛成ではないが、ないよりは良い。
市職員の思考の固定化（前例主義）に陥らないと思う。
- 非常によい。市民も実態を知ることができる。市職員も刺激になると思う。
あとは、これを如何に市が反映して頂くかが問題である。絵に描いた餅にならないよう、確実な改善をお願いしたい。

- 外部コーディネーターの方々の新鮮な考え方が面白かった。
マンネリしている事業を見直す良い機会になったと思う。
- 担当者のプライドと委員の知識力との対話がすばらしかった。
第三者的な視点で改善をすでに考えている担当職員の議論は良いが、理念で守ろうとしている担当職員とのかみ合わない議論が歯がゆい。あくまでゼロベースで見直すモチベーションを共有する仕組みやきっかけを持つ”何”かが必要ではないか。腹を割って話せる機会、意識を高める機会、少なくとも議論をもっと他の市職員がきくべき。とても勉強になりました。
- 市民評価員の年齢層のばらつきが気になります。(若い人がいない)
「プロポーザル」「JETプログラム」「CAN-DO」・・・カタカナにイメージをもっていらっしゃるのかどうか・・・ポカンとした表情が不安に思います。これからの子どもたちの時代、世界について、興味をもってくださっているのか。
- 自治体の「政策」・「施策」の成否を問うのではなく、「n e e d s」が事業として有無が存在するのか、の視点で仕分けをする思量が必要と考えている。
政治的、行政的「勢力」(熱い時だけの思量)に左右されない事業仕分けが必要と思われる。
<事業仕分けそのものの検討事項>
事業仕分けの対象選定の基準、T P Oが、偶然性の選定では「水戸黄門」の漫遊地のみでの改善になってしまうリスクがある。
外部審議委員の政治的中立性、行政政策・実行の理解度、対住民意識の対応度、価値判断の客観性の担保がなされているのか。偏向的、独善的な仕分け人思量が主流になると「n e e d s」有るものが×となり「n e e d s」無いものが○となる可能性がある。
「事業仕分け」が官僚作成の予算案を、政治主導による予算案に昇華させるアリバイ工作、演出劇という批判に対応するため、より高次元の「是々非々主義」が必要。
- 傍聴者が少ない。200～300名ぐらいが傍聴していると思った。PR不足。市民が関心がないとは思いたくない。特に評価される事業によっては、自分に関わる項目もあるはず。SNSを利用してPRを。個々(例：民生委員、交通指導員など評価される事業に関わる人達)に呼び掛けも必要では。市民の意見をもっと聞いてほしい。
市の担当者に緊張感が生まれ、改善の芽も生まれてくる。今までではダメと、いい意見、アイデアが出てくると思う。
質問者の問いに正確に答えられてない。時期も含め。来年は市民評価員に応募します。
- 公開事業評価のスケジュールは市のホームページに出ていましたか。次回

はホームページで確認してから、興味のある項目の時間に参加したいと思いました。

- 全体の理解は難しい。まとめは一応の参考資料とすべしで、決定は慎重に意見交換、議論が必要。
- 初めて聞きました。外部審議委員の方々の意見、実は根本をついていました。市職員の方々の努力はなる程とわかるけど、何か空回りしている部分が多くあるように感じました。私自身のあなたまかせのところが悔やまれます。ありがとうございました。
- （公財）加古川市ウェルネス協会補助事業の途中から入室したが、経理面の数字がなんなのかの把握が完全にできていないと思った。（事業者側の勉強不足）
加古川まつりは順当か。
- 是非実際の事業に活かして頂きたい。
- 市職員は初めての事業評価なので、想定質問を広く職員を対象に纏めていないので、外部委員の質問に適格に回答されていない。
（例：本日の（公財）加古川市ウェルネス協会補助事業は、協会発足の哲学があいまいになっているので、回答がチグハグになっていると思います。私はこの事業は評価しています。）
- 外部審議委員の方々の質問は、全体（市）の方針にふれていない。又、回答も不十分に思えた。組織のあり方、専門性についての質問はもっともだ。
- 説明時に全体像や他の事業との関係性があれば、さらにわかりやすいと思われる。（資料も）（特に他の部局のもの）
外部の人が加古川市を理解できてない人ばかりなので、市内の市民代表者1名などを外部審議委員に入れた方がよい。外部審議委員にはいい案もあるが、よその人的な時もあるため。
- 本来は議員が、一般質問や常任委員会、予算・決算委員会等で行うべきものであると考える。
今日の事業評価は、行政の意識改革につながると思われるが、これは継続強化推進すれば、議員の存在意義が薄くなるおそれもある。
- 「政策判断レベル」の事業を対象にするのであれば、「事務方では回答しづらい」という答え方ではなく、実際にある程度判断を述べられる出席者が必要ではないか。
市としての考え方の記載が「自己評価」の項目のみであり、どんな理由で対象事業になったのか見えにくい。対象の理由、見直しの論点のようなものがあればわかりやすいと感じた。
- 市民が市政に関心をもつよい機会である。
特に市民評価員となることで知らなかったことがわかる。市民評価員を100人くらいにしてほしい。人選が大変だとは思うが。

- 次年度以降も継続されるとともに、日程を増やし、より多くのテーマについて議論してほしい。
- その他、防犯パトロールの現状と参加者の事業内容を聞くべきだ。
市が全部把握しているとは思わないので。
- インターネット動画ライブ配信の画像が暗かった。照明かカメラのセッティングを考えるべきではなかったか。
- コーディネーターの姿勢や態度が、はじめから行政に対して、対決的過ぎる。言い放し的な感覚を受ける。コーディネーター・外部審議委員の言葉に責任を感じない。
- 今まで何故実施されなかったのか。
事業が多岐に渡るが、特定に片寄る様に映ることがある。
- 歴史的背景なども参考にしなければ、いけないところもあったと思う。
意図のある質問もあったと思いますが、市民サービスの向上と財源の使い方とのバランスも大切だと考えます。
- 全体を対象とするのは困難。一面での評価になってしまう。
- 市外から傍聴に来ましたが、ふだんなかなか市民には理解しにくい事業内容を市民に市民がふれることができ、情報公開としてもよい。
外部審議委員・市民評価員の意見に市政に反映させるべきものが多くあったように思います。
- 見方を変えれば、立場を変えれば、物事の筋が明らかになることを聞いていて思いました。今までこうしていたという行政から、これからこのようにしていきたいという輝きのある行政を期待します。公開事業評価の日程を増やし、いろんな分野での討議を願います。
- 県下初の取組で、今後とも継続・発展を切望したい。
限られた時間ながら、市民評価員には抽選ではなくもっと意欲的な人（希望者）を加えてほしい。
市職員により外部審議委員への的確に答えていないケースがあった。事前に見学会や質問書も提出されているようであるから、もっとリハーサルをして頂きたい。
入手資料から他の自治体との比較データが掲載されており、参考になった。
自由参加の機会を頂き、ありがとうございました。
伊藤コーディネーターは広い情報・知識をもっておられるので、テーマを絞って一度講演会で講演すればと思う。（例：平成 27 年度の夏季大学で）
- この公開事業、すばらしく、大評価したいと思いました。
私のように普通の人々が沢山聞きに来てほしい。で、大きくアピールしてください。市民の声が届いていないように思いました。役員（市役所）の方々の努力も知られてないです。改革もどんどんしてください。ありがとうございました。